

教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課

☎0124-22-2111

目次

- 1面 コミュニティ・スクール(学校運営協議会)がスタートします!!
 2面 平成31年度教育行政執行方針
 3面 教育予算について
 4面 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)がスタートします!!

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)が、いよいよ今年度、芦別中学校区(芦別小学校・芦別中学校)と啓成中学校区(上芦別小学校・啓成中学校)でスタートすることになりました。

昨年度までの活動

コミュニティ・スクールとは、保護者・地域の方々が学校の応援団になっていただき、学校と力を合わせて学校運営に取り組んでいこうとする仕組みづくりであることを、教育だよりを通して、お知らせしてきました。

また、教職員などを対象とした研修会や講演会を行ったほか、市内の関係11団体、延べ280人余りの方々にコミュニティ・スクールの概要をお話ししてきました。

さらに、学校関係者や保護者・地域の方々などを構成員とする準備委員会を設置し、コミュニティ・スクールの導入に向けて本格的な準備を進めてきたところです。

講演会の内容

今年の1月に、北海道コミュニティ・スクールアドバイザーの櫻井貴志さんを講師として、市民説明会を兼ねた講演会を実施しました。その中でコミュニティ・スクールとは、

○学校と地域や保護者が芦別の子どもたちを、どんな子どもに育てるのかを話し合う仕組み

○地域や保護者の方々が学校運営に参画し、学校を応援する仕組み

などの内容を、具体的に分かりやすくご講演いただきました。

参加者からも、「現状行われている地域との取り組みを続けていけるようにしていくことが大切かと思います。」などの感想が寄せられました。



いよいよスタート



新年度を迎え、いよいよコミュニティ・スクールがスタートラインに立ちます。

3月に行われたコミュニティ・スクール準備委員会で芦別中学校区と啓成中学校区に分かれ、構成メンバー、地域と連携した教育活動(学校のニーズ)についての意見交換・交流を行ったところです。

学校と家庭及び地域の方々が協働して、地域に開かれた信頼される学校づくりを進めていくという考え方のもと、子ども達の成長のために『地域とともにある学校づくり』を推進してまいりますので、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成31年度芦別市教育行政執行方針

本市では、芦別市総合教育大綱の基本目標である「健やかで心豊かに学べるまち」の実現に向けて、4つの重点目標を掲げて学校教育活動に取り組んでいきます。

学ぶ力の育成

児童生徒が自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら問題を解決する能力としての「学ぶ力」の育成を図ります。

- ☆ 学習サポート教員の配置、特定教科における複数教員体制（チームティーチング）による授業の実施
- ☆ 義務教育9年間を見通した系統性のある小中一貫教育の推進
- ☆ 外国語活動の充実を図るため、小学校に1名、中学校に1名の英語指導助手を配置
- ☆ 一人ひとりのニーズに応える特別支援教育の充実
- ☆ 漢字、算数、数学、英語検定の検定料全額助成（一人1回）

豊かな心の育成

生命を大切にする心や、他を思いやる心など豊かな心を持つ子どもの育成を図ります。

- ☆ 考え議論する道徳授業の推進
- ☆ いじめや不登校などの未然防止に向け「あいさつ運動」や縦割りの班活動等、児童生徒による主体的な取り組みを推進
- ☆ 「読書週間」の設定や、家庭との連携による読書や芸術に親しむ子どもの育成

健やかな身体の育成

家庭や関係機関との協力・連携を図り、様々な知識を身につけ、健康で安全な生活を営む能力や態度の育成を図ります。

- ☆ 「早寝早起き朝ごはん」など、食に関する正しい知識や望ましい生活習慣の指導
- ☆ 縄跳びやマラソンなど「一校一実践」による体力づくり
- ☆ 「がん教育」の推進や感染症などに対する正しい知識の指導



地域に開かれた信頼される学校づくりの推進

学校・家庭・地域が情報を共有し、一層信頼される学校づくりに取り組みます。

- ☆ コミュニティ・スクールの導入による地域とともにある学校づくり
- ☆ 教職員の指導力と資質の更なる向上に向けた研修会や講座への参加を奨励
- ☆ 「学校だより」や「教育だより」等による、学校運営や教育活動状況の共有



教育予算について

学校教育を進めていくための教育予算については、実施する事業の目的に応じて細かく分類されています。その中から、主なものを紹介します。

○学力向上のための経費

各種検定や家庭学習用ドリルの購入に係る助成、学習サポート教員に係る経費など

○外国語教育推進事業のための経費

英語指導助手の配置に関する経費など

○特別支援教育推進事業のための経費

特別支援教育推進員（学習支援員）の配置に関する経費など

○いじめ・不登校対策事業のための経費

いじめ問題対策連絡協議会の運営に係る経費など

○児童生徒の健康増進のための経費

内科健診、歯科検診、心臓検診、フッ化物洗口等に係る経費など

○地域とともにある学校づくりのための経費

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の運営に関する経費など



○小学校情報化教育推進事業に要する経費

来年度から小学校、再来年度から中学校で、新しい学習指導要領に基づいた教育活動がスタートし、小学校では「プログラミング教育」が必修化されます。コンピューターに意図した処理を行わせるための論理的な思考力「プログラミング的思考」等を育みます。

また、中学校においてはプログラミングに関する内容を充実させます。



○学習用コンピューター整備(小学校)

パソコン及びソフトウェア等をタブレットに更新します。

○指導用コンピューター整備(小学校)

指導者用のタブレットや周辺機器を購入します。

○Wi-Fi環境整備(小学校)

全ての教室でインターネットを使用できるように整備します。

※ 中学校については来年度、小学校と同様の整備を行う予定です。

保護者・地域の皆さまへ

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな政策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有化するため年3回発行いたします。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」（様式自由）にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係

【電話】0124-22-2111 【ファックス】0124-22-9696

【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp

平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

この調査は、子どもの体力の状況を把握・分析することでその課題を検証し、体力の向上や運動・生活習慣の改善を図ることなどを目的に全国で実施されました。

○調査対象～小学校5年生・中学校2年生

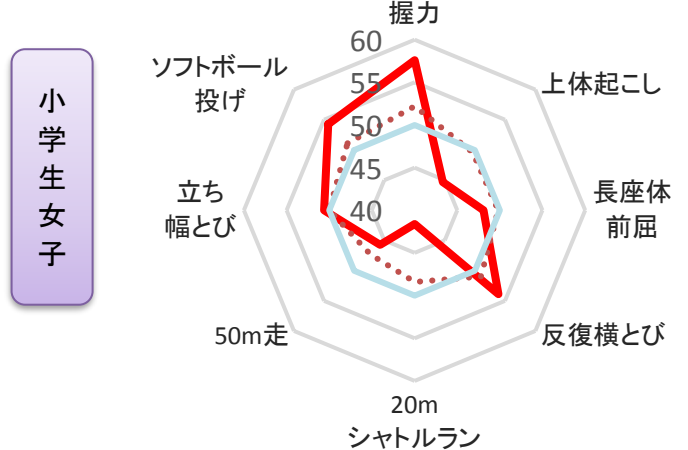
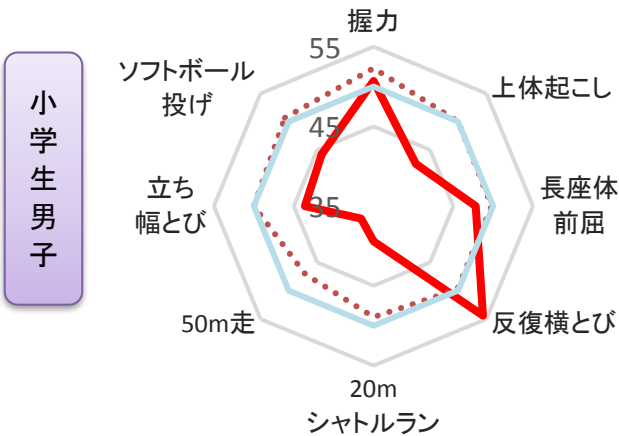
○調査期間～平成30年4月から7月

学校での「一校一実践」などの体力向上の取り組みや、家庭での望ましい生活習慣の定着など、この調査結果を踏まえ、今年度も様々な取り組みを行っていきます。

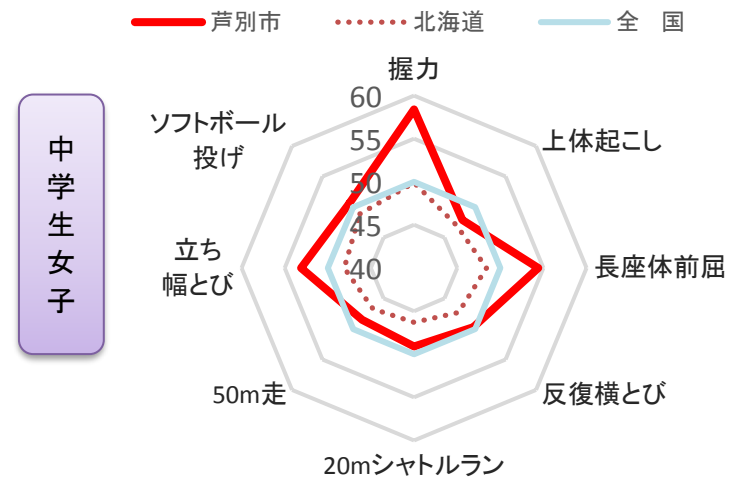
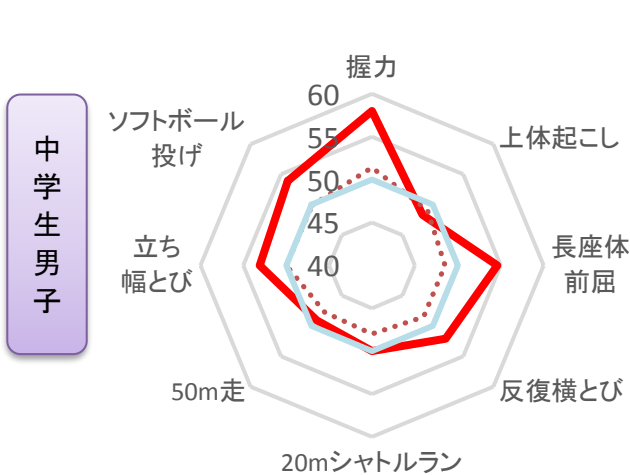


グラフは、全国を50とした場合の、北海道及び芦別市の数値を示したものです。

— 芦別市 北海道 — 全国



男子・女子ともに上体起こしや20mシャトルラン・50m走などで全国平均値を下回っていますが、男子は握力や反復横とび、女子は握力・反復横とびに加えて立ち幅とび・ソフトボール投げで全国平均値を上回っています。



男子・女子ともに上体起こしや50m走などで全国平均値を下回っているものの大きな開きはなく、その反面、握力や長座体前屈は全国平均値を大きく上回り、他にも全国平均値を上回る種目が多くあります。

**早寝早起き
朝ごはんの
ススメ！！**

子どもたちの健やかな成長には、「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした、適切な運動、バランスの良い食事、十分な睡眠がとても大切です。近年、子どもたちの生活習慣の乱れが学習意欲、体力、やる気の低下の要因の一つとして指摘されています。

- 朝の光で脳に刺激を与えよう！
- 朝ごはんを食べてエネルギーを補給！
- 元気の基本はしっかりと寝ること！

